1　国語

学校番号	3006

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	3	年次	工学系２年
使用教科書	新　高等学校　国語総合(明治書院)						
副教材等	国語便覧（数研出版）、入試漢字２５００プラス（京都書房）						

1 担当者からのメッセージ

・２年生では大学等の進学に備え、基礎学力の定着、並びに、多くの文章を読み、幅広い国語の力を身につけることを心がけましょう。
・他者とのコミュニケーションのための「話す・聞く能力」を高めましょう。
・意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けましょう。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習、復習を欠かさないようにしてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	自分の考えを話そう	【近代以降】 〈スピーチを通して、互いの考えを深めながら、話し方聞き方について学ぶ。〉 教材: 「自分の考えを話そう」、 ワークシート	○	◎			○	a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 e:話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	随筆の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「マルジャーナの智恵」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「鏡」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色につ	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

								いて理解している。	
	古文	【古典】 教材: 説話『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」 文法等…歴史的仮名遣い、助動詞を学ぶ	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	手紙を書く	【近代以降】 〈手紙を書くことで社会に生きるためのコミュニケーション手段を学ぶ〉 教材:「手紙を書こう」 ワークシート	○	◎			○	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 b:話す内容について幅広く資料などに当たって調べている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
2学期	随筆の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「清兵衛と瓢箪」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論の内容を理解する	【近代以降】 教材: 「働くことの意味」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかど	a:行動の観察 d:記述の確認及び定

								うかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	期考査 e:小テスト及び定期考査
	短詩形文学を味わう	【近代以降】 教材:教科書に掲載された俳句と短歌	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	漢文	【古典】 教材: 『唐詩』 句法等…訓点の復習	○			◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	古文の物語を読む	【古典】 教材: 『平家物語』 「能登殿の最期」	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査

		文法等…文語の用言の活用						d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	e:小テスト及び定期考査
	随筆の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「世界中がハンバーガー	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「富嶽百景」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	様々な漢文を読む	【古典】 教材: 『故事成語』	○			◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り	a:行動の観察 d:記述の確

		「臥薪嘗胆」						返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	古文の和歌を味わい日記を読む	【古典】 教材: 『奥の細道』 「旅立ち」、「平泉」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	評論の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「思われる」と「考える」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a：行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e：小テスト及び定期考査
	小論文	【近代以降】 教材: 「発表する」	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適	a、c、e:記述の点検と確認及び分析

								切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。